

☛コクヨCSR憲章	☛会社概要	☛コクヨが主に取り組む領域	☛コクヨの取り組みとその歩み	☛未来と社会のための取り組み	☛コクヨのさまざまな取り組み	☛2018年 コクヨの取り組みのご紹介
☛コクヨのCSR	☛環境	☛社会	☛ガバナンス	☛社外からの評価	☛対照表	

## ■ 社外からの評価

### 外部からの表彰・評価

#### 表彰

#### 働き方改革「ワクワク、スマートワーク」時差Biz推進賞受賞

新しい働き方へのチャレンジ「ワクワク、スマートワーク」の取り組みが、東京都が主催する時差 Biz推進賞のワークスタイル部門を受賞しました。2018年7月23日から10月26日の3カ月間、社員が働くことにワクワクしながら、多様な働き方を継続的に考えていく機会にすることをテーマに掲げ、フレックスタイム、在宅勤務、テレワークなどを活用しながら、通勤時間削減によるライフ時間の有効活用を目指したものです。これらの取り組みが評価され、今回の受賞に至りました。



#### コクヨ「ing」がデザイン賞受賞など、2冠を獲得

オフィスチェア「ing(イング)」が、ドイツの国際的デザイン賞「German Design Award 2019」を受賞するとともに、日本工業デザイナー協会による「JIDAデザインミュージアムセレクション vol.20」の選定商品となりました。

「German Design Award」は、世界各国のデザイン賞を受賞した商品の中から、The German Design Councilの推薦を受けた商品のみが受賞候補となる、「賞の中の賞」とも呼ばれる権威ある賞です。

「JIDAデザインミュージアムセレクション」は、社会に寄与する質の高いデザインの商品を選定・表彰するもので、「ing」はゴールドセレクション賞を受賞しました。



#### 「オルガテック2018」コクヨブースが、「FRAME Awards Orgatec」の2部門でグランプリ受賞

2018年10月23日から27日までドイツで開催された「オルガテック2018」(ケルン国際オフィス家具見本市2018)において、「ing(イング)」の展示ブースが、オランダのインテリアデザイン雑誌『FRAME』が選ぶ「FRAME Awards Orgatec」のグランプリを獲得しました。

「FRAME Awards Orgatec」は、出展した各社のブースを対象に、カラーリング部門、照明部門、マテリアル部門、スタンド部門(総合評価)の4部門で審査を実施。コクヨは照明部門とスタンド部門(総合評価)の2部門でグランプリを同時受賞するという快挙を成し遂げました。



## 優秀ファシリティマネジメント賞受賞

ファニチャー事業本部が手掛けた、キューピー「仙川キューポート」が、第12回日本ファシリティマネジメント大賞（JFMA賞）を受賞し、2018年2月22日にJFMAフォーラム会場で表彰式が行われました。

「仙川キューポート」は、2014年度日経ニューオフィス賞の経済産業大臣賞も獲得していますが、今回は4年間にわたる「仙川キューポート」のオフィスづくりと、オフィスの管理運営実績についての評価をいただき、「サービス提供者」としてココヨが表彰されたものです。

## 「しゅくだいやる気ペン」、総務省「異能ジェネレーションアワード2018」を受賞

2018年10月24日、開発中のIoT文具「しゅくだいやる気ペン」が、総務省の主導する「異能vation(いのうべーション)プログラム」のジェネレーションアワードを受賞しました。この賞は、ICT分野における、未来がよりよくなるような独創的なアイデアに対して贈られるものです。応募総数は10,440点で、全10分野から各1点が選出されました。

この受賞によりチームメンバーのモチベーションも一段とアップ。2019年の発売に向け、期待を超える商品に仕上げていきたいと思えます。

## 防災ソリューション事業部『ソナエル』が第59回全国カタログ展カタログ部門で銀賞など2つの受賞

防災ソリューション事業部が制作した商品カタログ『ソナエル vol.11』が、第59回全国カタログ展においてカタログ部門賞の銀賞を獲得しました。

また、第39回日本BtoB広告賞において、製品カタログの部〈総合〉で銀賞を受賞しました。

『ソナエルvol.11』は、ストーリー仕立てになった解説を読み進めながら防災プランを組み立てることができるように意図されたガイドブックカタログです。

今回の経験を糧にして、さらにお客様に寄り添うカタログとなれるよう、今後も進化を続けていきます。



## 2018年グッドデザイン賞、ココヨから15商品受賞

2018年グッドデザイン賞が10月3日に発表され、ココヨから15商品が受賞しました。なかでも審査委員会から特に高い評価を得た商品が選ばれるグッドデザイン・ベスト100に、オフィス備蓄防災システム「PARTS-FIT」が、10年以上継続的に提供され、広く支持されている商品やサービスに贈られるロングライフデザイン賞に、「スクラップブックD」が選出されました。これらの商品は、10月31日から開催された「GOOD DESIGN EXHIBITION 2018」の特別展示で紹介され、多くの来場者からの注目を集めていました。



## ライフスタイルショップ「THINK OF THINGS」のグラフィックデザインがADC賞を受賞

ココヨが運営するライフスタイルショップ「THINK OF THINGS」のジェネラルグラフィック、パッケージデザイン、マーク&ロゴが、東京アートディレクターズクラブが選出する「2018ADC賞」に決定し、2018年12月18日に授賞式が行われました。

「ADC賞」は、日本の広告やグラフィックデザインの先端の動向を反映する賞として国内外の注目を集める賞であり、今年は2017年5月から2018年4月までの1年間に発表、使用、掲載された約8,000点の中から、13点が受賞作として選出されました。



## ■ コクヨ 金井あき「JAGDA新人賞2018」受賞

コクヨの社員、クリエイティブセンターの金井あきが、日本グラフィックデザイナー協会(JAGDA)が選出する「JAGDA新人賞 2018」を受賞し、2018年6月29日に授賞式が行われました。

金井あきは、2008年にコクヨに入社。上海万国博覧会日本産業館「未来郵便局」やライフスタイルショップ「THINK OF THINGS」のアートディレクション、コクヨの国内外拠点のサイン計画やインナーブランディングの企画・デザインなど、数多くの場でその才能を発揮してきました。今後もグラフィックデザインに軸を置きながら、社内外の創作活動に取り組んでいきます。

## ■ 「結の森プロジェクト」が生物多様性アクション大賞2018特別賞「グリーンウェイブ賞」を受賞しました

高知県四万十川流域での人工林の再生と、その人工林を守る地域の活性化を目的とした「結の森プロジェクト」が、生物多様性アクション大賞2018の特別賞「グリーンウェイブ賞」を受賞しました。

生物多様性アクション大賞は、「国連生物多様性の10年」の日本における広報活動の一環として2013年にスタートしたもので、生物多様性保全につながる活動を発掘し、応援し、多くの人に知ってもらうことを目標としています。特別賞である「グリーンウェイブ賞」は、木を植えたり、森林や樹木の手入れをしたりするような、自然と触れ合いながら学びあう活動を表彰するものです。



## ■ 「ヨシでびわ湖を守る リエデンプロジェクト」第20回日本水大賞【経済産業大臣賞】受賞

2007年に発足した「リエデンプロジェクト」は、ヨシ原の保全とヨシの活用を目的として、多様な事業者がゆるやかに繋がる協働の実現(2018年7月現在127社が賛同)、ヨシを商品の原料に使うエコ文具「リエデンシリーズ」の開発・製造・販売、収益の一部を地域活動団体などに寄付することなどを目的としたプロジェクトです。

企業本来のビジネス活動と広範な地域連携活動とを結びつけたこの取り組みは高く評価され、2018年6月26日、水循環の健全化に貢献する取り組みを表彰する「日本水大賞」において「経済産業大臣賞」を受賞しました。



経済産業副大臣と記念撮影

## ■ 「ヨシでびわ湖を守るリエデンプロジェクト」が第5回「しが生物多様性大賞(企業部門)」 大賞を受賞

「しが生物多様性大賞」とは、滋賀県で、2015年に「生物多様性しが戦略」が策定され、社会経済活動に生物多様性を組み込むことを目標に掲げ、この目標を達成するため、企業部門、一般部門、協働部門の3部門を設け、優れた生物多様性に関する活動を表彰する制度です。

「ヨシでびわ湖を守る リエデンプロジェクト」が第5回「しが生物多様性大賞(企業部門)」 大賞を受賞し、2018年2月7日 滋賀県庁にて授賞式が行われました。



滋賀県庁にて授賞式

## ■ コクヨ工業滋賀 「滋賀県低炭素社会づくり賞(事業者行動計画書制度部門)」 受賞

「滋賀県低炭素社会づくり賞」とは、事業者行動計画書制度において、事業者行動計画書および報告書を提出した者のうち、事業活動における自社の温室効果ガス排出量の削減に関して他の事業者の模範となる優れた取り組みを行っている事業者を表彰する制度で2012年から実施されています。

コクヨ工業滋賀が「滋賀県低炭素社会づくり賞(事業者行動計画書制度部門)」を受賞し、2018年2月9日 滋賀県庁にて授賞式がおこなわれました。

### 【評価ポイント】

- ・リアルタイムでの電力使用量の見える化を省エネ効果の把握や、歩留まり改善および生産性向上の評価指標の1つとして活用。
- ・社内改善提案制度にて社員から挙げた節電提案を元に改善を行い、提案→実施→評価の好サイクルを回し、全従業員の意識向上と省エネ取組を推進。
- ・「ヨシでびわ湖を守るネットワーク」を立ち上げ、ボランティア活動を展開。温室効果ガス固定効果のあるヨシを使った紙製品文具の開発、製造、販売を行い、自然環境保全の啓発をしながら低炭素社会づくりも推進。



滋賀県庁にて授賞式

## ■ 評価

## ■ 経済産業省「健康経営優良法人認定制度」

回答社数1800社(うち上場企業859社)の中で、上位10%以内に入る得点を獲得。上位50%超60%以内だった昨年から大きく評価を上げました。



## ■ 日経「スマートワーク経営調査」結果発表

日本経済新聞社が「働きやすさ」の視点でまとめた「スマートワーク経営調査」によると、コクヨの総得点の偏差値は55以上60未満となりました(有効回答数663社)。

調査は、多様で柔軟な働き方の実現、新規事業などを生み出す体制、市場を開拓する力の3要素に加え、コーポレートガバナンスなどの経営基盤も加えて各社の総得点を算出し、格付けしたものです。

コクヨは「3.5星」の格付となりました。



## ■ 経団連「働き方改革事例集」に掲載されました

一人ひとりの社員が、自分らしく生き生きと輝ける新たな働き方にチャレンジした「ワクワク、スマートワーク」をはじめとする取り組みが、日本経済団体連合会(経団連)リリースの『働き方改革事例集』に取り上げられました。

制度や仕組みだけでなく、社員自身が主体的に参加するトライアル活動やCROSS!!!イベントなど、さまざまなトライ&エラーを重ねながら、よりよい働き方を目指している点が評価されたものです。これからも、「日本でいちばん働き方が上手な会社」を目指してチャレンジを続けていきます。

※ 関連情報:「[働き方改革事例集](#)」